

単元 4 大地の変化

単元のねらい	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現する。	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去のような、火山と地震、自然の恵みと火山災害・地震災害を理解しているとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けている。	大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現している。	大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

地形や地層、岩石の観察（1時間）

ねらい	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・身近な地形や地層、岩石などの観察を通して、土地の成り立ちや広がり、構成物などについて理解するとともに、観察器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付ける。	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	身近な地形や地層、岩石の観察について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、それらの規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	身近な地形や地層、岩石の観察に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

参考：国立教育政策研究所『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』

時 数	項目 ＜項の目標＞	観点別評価		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	地形や地層、岩石の観察	・身近な地形や地層、岩石などを観察し、それらのようすや特徴を記録することができる。 ・身近な地形や地層、岩石などの特徴を理解している。	・身近な地形や地層、岩石などを観察し、それらの規則性などを見いだして表現し、科学的に探究している。	★身近な地形や地層、岩石などに興味をもち、生活との関わりを考えながら、主体的に観察し、科学的に探究しようとしている。
	◆2分野（2）ア（ア）㊦、イ			
	＜身近な地形や地層、岩石などの観察を通して、土地の成り立ちや広がり、構成物などについて理解するとともに、観察器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付ける＞	行動観察、ワークシート	ワークシート	行動観察、質問紙
	方法			
	Ａ基準	・身近な地形や地層、岩石などを観察し、それらのようすや特徴を記録することができる。 ・身近な地形や地層、岩石などの特徴を理解し説明することができる。	・身近な地形や地層、岩石などを観察し、過去の出来事などを推測し、それらの規則性などを見いだして表現し、科学的に探究している。	・身近な地形や地層、岩石などに興味をもち、主体的に観察し、科学的に探究しようとしている。
	Ｂ基準	・身近な地形や地層、岩石などを観察し、記録することができる。 ・身近な地形や地層、岩石などの特徴を理解している。	・身近な地形や地層、岩石などを観察し、それらの規則性などを見いだして表現している。	・身近な地形や地層、岩石などに関心をもち、観察しようとしている。

方法…評価方法 Ａ基準（十分満足できる。） Ｂ基準（おおむね満足できる。） ★…重点評価項目

章のねらい	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 火山の形、活動のようす及びその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けて理解する。 - 火山岩と深成岩の観察を行い、それらの組織のちがいを成因と関連付けて理解する。	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、火山活動や火成岩と地球内部のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	火山について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだし表現しているなど、科学的に探究している。	火山に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもった振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

時 3	項目 ＜項の目標＞	観点別評価		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 火山の活動 A 火山噴出物 B 火山の形と噴火のようすのちがい ◆2分野（2）ア（ウ）㊦、イ 〈火山の形、活動のようすおよびその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けてとらえる〉	規 準 方 法 A 基 準 B 基 準	・火山噴出物を観察器具を使って観察し、特徴を記録している。 ・火山の形や活動のようすを地下のマグマの性質と関連付けて理解している。	★火山噴出物の特徴から、火山噴出物がマグマに由来することについて、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。 ★マグマの粘りけと溶岩の色、火山の形、噴火活動のようすのちがいを関連付け、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・火山噴出物に興味をもち、火山噴出物が地下のマグマに由来することを探究しようとする。 ・火山の形や噴火活動のようすについて関連性を考え、地下のマグマの性質との関係を見いだそうとしている。
		行動観察、ペーパーテスト、スケッチ	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、質問紙
		・火山噴出物を観察器具を適切に使って観察し、特徴をきめ細かに記録している。 ・マグマの性質によって溶岩の色、火山の形、噴火活動のようすがちがうことを理解し、これらの関連性を説明することができる。	・マグマの粘りけと溶岩の色、火山の形、噴火活動のようすのちがいを関連付け、火山噴出物の特徴や資料を総合的に判断し自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。	・火山噴出物・火山の形・噴火活動に興味をもち、進んで探究し、地下のマグマに由来することやマグマの性質と関連付けて意欲的に調べようとする。
		・火山噴出物を観察器具を使って観察し、特徴を記録している。 ・マグマの性質による溶岩の色、火山の形、噴火活動のようすのちがいがわかる。	・マグマの粘りけ、溶岩の色、火山の形、噴火活動のようすのちがいをまとめ、表現することができる。	・火山噴出物・火山の形・噴火活動に関心をもち、地下のマグマと関連付けて調べることができる。
2 マグマが固まった岩石 A 火山灰などに含まれる粒 B マグマが固まってできた火成岩 ◆2分野（2）ア（ウ）㊦、イ 〈火山岩と深成岩の観察を行い、それらの組織のちがいを成因と関連付けてとらえる〉	規 準 方 法 A 基 準 B 基 準	★火山灰や軽石に含まれる鉱物を双眼実体顕微鏡などを使って観察し、その特徴を記録している。 ★火山岩、深成岩をルーベなどを使って観察し、それぞれの組織の特徴をとらえ、マグマの冷え方によって火成岩の組織がちがうことを理解し、知識を身に付けている。	・観察した鉱物の特徴をまとめ分類し、これらがマグマに由来することを見いだし、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。 ・火山岩、深成岩の組織のちがいとマグマの冷え方の関係に気付こうとする。	・鉱物や、火山岩と深成岩の特徴を科学的に探究しようとする。 ・火成岩の結晶の大きさやつくりのちがいとマグマの冷え方に関係を見いだそうとする。
		行動観察、ワークシート、ペーパーテスト、スケッチ	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、質問紙
		・火山灰・軽石に含まれる鉱物や火山岩・深成岩を観察器具を適切に使って観察し、記録することができる。 ・火成岩を組織のちがいから火山岩、深成岩の判別が正しくでき、マグマの冷え方と組織の関係についても説明することができる。	・観察した鉱物の特徴をまとめ分類し、これらがマグマに由来することを見いだし、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。 ・火山岩、深成岩の組織のちがいとマグマの冷え方を関連付け、自らの考えを導きまとめ、表現することができる。	・火山岩と深成岩の特徴が、マグマの種類や冷え方に関係することに興味をもち、主体的に自ら課題を設定し、探究しながら調べようとする。
		・火山灰・軽石に含まれる鉱物や火山岩・深成岩を観察し、記録することができる。 ・火山岩、深成岩の組織のちがいとマグマの冷え方との関係について理解し、知識を身に付けている。	・鉱物がマグマに由来することを考えようとする。 ・火山岩、深成岩の組織のちがいとマグマの冷え方を関連付け、考えをまとめ、表現できる。	・火山岩と深成岩の特徴、火成岩の色のちがいに興味をもって調べることができる。
1 3 火山の災害 ◆2分野（2）ア（エ）㊦、イ 〈自然がもたらす恵み及び火山災害について調べ、これらを火山活動の仕組みと関連付けて理解する〉	規 準 方 法 A 基 準 B 基 準	・自然がもたらす火山災害について調べ、これらを火山活動の仕組みと関連付けて理解できる。 ・自然がもたらす火山災害について調べ、記録する技能を身に付けている。	・火山災害の特徴を調べてまとめ、表現している。	★火山災害を火山活動の仕組みと関連付けて課題を設定して調べ、噴火警戒レベルやハザードマップなど身を守る仕組みに関わろうとしている。
		レポート、ペーパーテスト	レポート、発表	行動観察、質問紙
		・自然がもたらす火山災害についてこれらを火山活動の仕組みと関連付けて理解し、説明できる。 ・課題を理解し、自然がもたらす火山災害について調べ、記録する技能を身に付けている。	・火山災害について資料を探し、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・火山災害に関心をもち、課題を設定して、噴火警戒レベルやハザードマップなど災害から身を守る仕組みについて主体的に関わろうとしている。
		・自然がもたらす火山災害について理解できる。 ・自然がもたらす火山災害について調べ、記録する技能を身に付けている。	・火山災害の特徴を調べてまとめ、表現している。	・噴火警戒レベルやハザードマップなど災害から身を守る仕組みに関わろうとしている。

方法…評価方法 A基準（十分満足できる。） B基準（おおむね満足できる。） ★…重点評価項目

章のねらい	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 地震の体験や記録を基に、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付く。 - 地震の原因を地球内部のはたらきと関連付けて理解し、地震に伴う土地の変化のようすを理解する。	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、地震の伝わり方と地球内部のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地震について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、揺れの大きさや伝わり方の規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	地震に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもった振り返りなど、科学的に探究しようとしている。

参考：国立教育政策研究所『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』

時数	項目 ＜項の目標＞	観点別評価		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2	1 地震の揺れの大きさ A 地震の規模 B 地震とは何か ◆2分野（2）ア（ウ）㉑、㉒ ＜地震の記録をもとに、地震の揺れの大き さや規模と地震の発生について理解する＞	規 準 方 法 A 基 準 B 基 準	・地震が発生された際に発表される、震度とマグニチュードに注目し、それぞれのがどのように使われているかを考え、まとめ表現している。 ワークシート、ペーパーテスト ・地震が発生された際に発表される、震度とマグニチュードに注目し、それぞれのがどのように使われているかを考え、まとめ表現している。 ワークシート、ペーパーテスト	★日本付近は地震が多く発生することに興味をもち、震度やマグニチュード、地震の発生について課題を設定し説明しようとしている。 行動観察、質問紙
	3 2 地震の揺れの伝わり方 3 地震の揺れ方の規則性 ◆2分野（2）ア（ウ）㉑、㉒ ＜地震の記録をもとに、地震の揺れの伝 わり方や規則性に気付く＞	規 準 方 法 A 基 準 B 基 準	★地震の揺れの伝わり方や震源からの距離と揺れ始めるまでの時間との関連を見いだし、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。 ★P波とS波の速さや届くまでの時間の差と震源からの距離との関連を考え、まとめ、表現している。 ワークシート、ペーパーテスト	・地震の揺れの伝わり方や、揺れの伝わる速さなどについて探究しようとする。 ・地震計の記録と地面の揺れの伝わり方から、初期微動継続時間と震源からの距離の関連を見いだそうとする。 行動観察、質問紙
		・初期微動、主要動、P波、S波など、地震の揺れの特徴、初期微動継続時間と震源までの距離の関係について理解し、知識を身に付けている。 ・初期微動、主要動、P波、S波、初期微動継続時間について理解し、知識を身に付けている。	・初期微動を伝えるP波と主要動を伝えるS波が届くまでの時間の差（初期微動継続時間）と震源からの距離との関連を見いだし、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。 ・初期微動継続時間と震源までの距離を考えることができる。	・地震が発生したときの揺れの特徴を自分の生活や体験を通して、多くの事例をあげながら、話し合いを進めている。 ・地震が発生したときの揺れの特徴と、生活への影響について、話し合いをすることができる。
		・自然がもたらす地震災害について理解している。 ・自然がもたらす地震災害について調べ、記録する技能を身に付けている。 ワークシート、ペーパーテスト	・地震災害の特徴を調べてまとめ、表現している。 レポート、発表	★地震災害に関する具体的な事例や警報など災害から身を守る仕組みについて関わろうとしている。 行動観察、質問紙
1	4 地震の災害 ◆2分野（2）ア（エ）㉓、㉔ ＜自然がもたらす地震災害について調べ て理解する＞	規 準 方 法 A 基 準 B 基 準	・地震災害について資料を探し、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。 ・地震災害の特徴を調べてまとめ、表現している。	・地震災害に関心をもち、警報など地震災害から身を守る仕組みについて主体的に関わろうとしている。 ・地震災害と警報など災害から身を守る仕組みに関わろうとしている。
		・自然がもたらす地震災害について理解し、説明できる。 ・課題を理解し、自然がもたらす地震災害について調べ、記録する技能を身に付けている。 ・自然がもたらす地震災害について理解できる。 ・自然がもたらす地震災害について調べ、記録する技能を身に付けている。		

方法…評価方法 A基準（十分満足できる。） B基準（おおむね満足できる。） ★…重点評価項目

章のねらい	観点別評価例		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 身近な地層の観察を通して、土地の成り立ちや広がり、構成物などについて理解するとともに、観察器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付ける。 - 地層のようすやその構成物などから地層のでき方を考察し、重なり方や広がり方についての規則性を見いだして理解するとともに、地層と其中的の化石を手掛かりとして過去の環境と地質年代を推定できることを理解する。	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、地層の重なりと過去のようすについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地層の重なりと過去のようすについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだし表現しているなど、科学的に探究している。	地層の重なりと過去のようすに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

時数	項目 ＜項目の目標＞	観点別評価			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	地層のでき方 ◆2分野（2）ア（イ）㊦，イ ＜地層のでき方を考察し、重なり方の規則性を見いだす＞	規準	・れき、砂、泥など、粒の大きさと沈み方の関係を実験で調べ記録している。 ・地層のでき方の規則性や流水による地形のでき方を理解し、知識を身に付けている。	★流水のはたらきと堆積物の粒の大きさととの関係や規則性を見だし、流水によっていろいろな地形ができることについて、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・地層について興味をもち、地層のでき方や重なり方を探究しようとする。
		方法	ワークシート、ペーパーテスト	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、ワークシート
		A基準	・粒の大きさと沈み方の関係を実験で調べ詳細に記録している。 ・地層のでき方や規則性を理解し、流水のはたらきや粒の大きさと関連付けて説明することができる。	・流水のはたらきによって、水中でどのように土砂が堆積するか、水の流れや粒の大きさを関連付けて考え、規則性を推測し表現することができる。	・地層が水の中でどのようにしてできるかに関心をもち、意欲的に話し合いを進め、実験をしている。
		B基準	・粒の大きさと沈み方の関係を実験で調べ記録している。 ・地層がどのようにできるかを理解している。	・地層が水平にできていることに気づき、粒の大きさなどから堆積した環境などを考えることができる。	・地層のでき方について関心をもって実験をしている。
2	地層の観察 ◆2分野（2）ア（ア）㊦、イ ◆2分野（2）ア（イ）㊦、イ ＜野外観察を行い、観察記録をもとに、地層のでき方を考察し、重なり方や広がりについての規則性を見いだす＞	規準	★地層を観察し、それらのようすをスケッチし、特徴を記録している。 ★地層が堆積した当時のようすや断層やしゅう曲など大地の変動の影響を理解している。 ★複数の地点の柱状図から地層の広がりを再現することができ、地層が広い範囲に広がっていることを理解している。	・観察結果から、地層の堆積した場所や環境を推測することができ、観察結果をわかりやすくまとめ発表している。 ・複数の地点の地層の柱状図などを比較し、地層の広がりを推定し、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	★地層のつくりや重なり方に興味をもち、主体的に野外観察を行っている。 ★観察結果や資料から、地層の広がりが地層のつながりを調べようとする。
		方法	ワークシート、ペーパーテスト、スケッチ	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、質問紙
		A基準	・地層を観察し、的確にスケッチし、特徴を文章で適切に記録することができる。 ・地層の重なり方を理解し、複数の地点の柱状図から、地層の広がりが重なり方について説明することができる。	・観察結果から、その地層がどのようなところで堆積してつくれたか、いろいろな背景を多面的に推測し、考えをまとめることができる。	・身近に見られる地層に興味をもち、安全性を考えた野外観察を行い、地層のつくり、重なり方、広がりについて主体的に調べようとする。
		B基準	・観察した結果をスケッチし、特徴を文章で記録することができる。 ・地層の重なり方や柱状図から地層が広がっていることを理解している。	・地層が水平にできていることに気づき、粒の大きさなどから堆積した環境などを考えることができる。	・地層に関心をもって野外観察を行い、地層のつくり、重なり方、広がりについて調べることができる。
2	3 堆積岩と化石 A 堆積物が固まってできた堆積岩 B 化石 ◆2分野（2）ア（ア）㊦、イ ◆2分野（2）ア（イ）㊦、イ ＜地層をつくる岩石とその中の化石などを手がかりにして過去の環境と年代を推定する＞	規準	★双眼実体顕微鏡やルーペなどを使って堆積岩や化石を観察し、それらのようすをスケッチし、特徴をまとめている。 ★堆積岩の特徴、示相化石や示準化石について理解し、知識を身に付けている。	・地層のようす、堆積岩、化石の特徴をもとに地層のできた時代や当時の自然環境について推定し表現している。	・地層をつくる岩石や化石などに興味をもち、堆積した当時の自然環境や年代を探究しようとする。
		方法	ワークシート、ペーパーテスト、スケッチ	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、質問紙
		A基準	・観察器具の特徴を理解し、試料に合った観察器具を考えながら使い、堆積岩や化石のようすを的確にスケッチし、詳しく特徴をまとめることができる。 ・堆積岩の構成物から、堆積した当時の環境や化石は堆積した当時の状況を知る手がかりとなることを理解し説明することができる。	・堆積岩や化石の特徴をもとに、地層のできた時代や当時の自然環境について多面的に考えながら推定し、考えをまとめることができる。	・堆積岩や化石がどのようにしてできるかに関心をもち、意欲的に話し合いを進め、課題を設定し主体的に観察している。
		B基準	・観察器具を使って、堆積岩や化石のようすをスケッチし、特徴をまとめることができる。 ・堆積岩の特徴、示相化石や示準化石について理解し、知識を身に付けている。	・堆積岩、化石の特徴をもとに、地層のできた時代や当時の自然環境について考えることができる。	・堆積岩や化石に興味をもち、観察している。

方法…評価方法 A基準（十分満足できる。） B基準（おおむね満足できる。） ★…重点評価項目

章のねらい	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 火山や地震の原因を地球内部のはたらきと関連付けて理解し、大地の変動のようすを理解する。 - 自然がもたらす恵み及び火山災害と地震災害について調べ、これらを火山活動や地震発生の仕組みと関連付けて理解する。	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、大地の変動と地球内部のはたらきや自然の恵みと火山災害・地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	大地の変動や自然の恵みと火山災害・地震災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	大地の変動や自然の恵みと火山災害・地震災害に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

時数	項目 ＜項の目標＞	観点別評価		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2	1 火山や地震とプレート A 世界のプレート B 日本付近のプレート ◆2分野（2）ア（ウ）①、イ 〈火山活動や地震がプレートどうしの境界で起こること、日本付近では海のプレートが陸のプレートの下に沈みこんでいることから火山活動や地震が起こることを理解する〉	規 準 ★世界の地形図と火山・震央の分布図およびプレートの動きの関係を読みとることができる。 ★世界の地形図と火山・震央の分布図およびプレートの動きの関係を読みとり、火山や地震とプレートの関係を理解している。 ★日本付近の震源の分布の特徴とプレートの動きを関連付けて理解している。	思考・判断・表現 ★世界の火山と震央の分布とプレートの動きとの関係を考えることができ、地球内部のはたらきから地震や火山活動の起こる仕組みを見だし、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。 ★地震の震央と震源の深さの分布から、日本付近では、どこで地震が多く起こっているか立体的にとらえ、その特徴を考えまとめ表現している。	主体的に学習に取り組む態度 ・地震や火山活動とプレートの動きと、地球内部のはたらきとの関わりを調べようとする。 ・日本付近で起こる地震の場所と、地震の原因を地球内部のはたらきと関連付けて調べようとする。
		方法 ワークシート、ペーパーテスト	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、質問紙
		A基準 ・日本付近のプレートの特徴を理解し、それらと火山や地震の密接な関係を理解し説明することができる。	・世界の火山と震央の分布とプレートの動きとの関係を見だし、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・世界の火山と震央の分布について関心をもち、2つの関係とプレートのかわり合いについて主体的に話し合いをしようとしている。
		B基準 日本付近にはいくつかのプレートがあり、プレートの運動が地震や火山の原因の1つになっていることを理解している。	・世界の火山と震央の分布の関係を考えることができる。	・世界の火山と震央の分布について関心をもっている。
1	2 地形の変化とプレートの動き ◆2分野（2）ア（ウ）①、イ 〈プレートのはたらきとさまざまな地形のでき方を関連付けてとらえる〉	規 準 ★プレートの動きなど地球内部のはたらきからさまざまな地形ができる仕組みを理解している。	・プレートのはたらきとさまざまな地形のでき方を関連付けてとらえまとめ、表現している。	・プレートのはたらきとさまざまな地形のでき方を主体的に調べようとする。
		方法 ワークシート、ペーパーテスト	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、質問紙
		A基準 ・地球内部のはたらきによってプレートが動き大陸が動くことやさまざまな地形ができることを理解し、説明することができる。	・地球内部のはたらきによってプレートが動き大陸が動くことやさまざまな地形ができる仕組みを見だし、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・さまざまな地形とプレートのかかわりについて話し合いを進めようとしている。
		B基準 ・プレートの動きによってさまざまな地形ができることを理解できる。	・プレートの動きによってさまざまな地形ができることを考え、表現できる。	・さまざまな地形とプレートのかかわりについて調べようとしている。
1	3 自然のめぐみと火山災害・地震災害 A 自然のもたらす災害 B 自然の恵み ◆2分野（2）ア（エ）②、イ 〈自然がもたらす恵みや火山災害と地震災害について調べ、これらを火山活動や地震発生の仕組みと関連付けて理解する〉	規 準 ・自然がもたらす恵みや火山災害と地震災害について調べ、まとめることができる。 ・自然がもたらす恵みや火山災害と地震災害について理解している。	・自然がもたらす恵みや火山災害と地震災害の特徴を調べてまとめ、表現している。	★自然がもたらす恵みや火山災害と地震災害に関する具体的な事例に進んでかわり、それらを科学的に探究しようとする。
		方法 ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、レポート	行動観察、質問紙
		A基準 ・自然がもたらす恵みや火山災害と地震災害について理解し、説明できる。	・自然がもたらす恵みや火山災害と地震災害について資料を探し、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・自然がもたらす恵みや火山災害と地震災害に関心をもち、主体的に調べようとする。
		B基準 ・自然がもたらす恵みや火山災害と地震災害について理解できる。	・自然がもたらす恵みや火山災害と地震災害の特徴を調べてまとめ、表現している。	・自然がもたらす恵みや火山災害と地震災害を調べようとする。

方法…評価方法 A基準（十分満足できる。） B基準（おおむね満足できる。） ★…重点評価項目

ねらい	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地震の震源を、複数の地点の地震の記録をもとに特定することができることを理解する。	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、地震の伝わり方と地球内部のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地震について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだし表現しているなど、科学的に探究している。	地震に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったやり取りなど、科学的に探究しようとしている。

時数	項目 ＜項の目標＞		観点別評価		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2	震源はどこか ◆2分野（2）ア（ウ）①、イ ＜この単元で学習した内容をもとに、課題発見、計画立案、分析解釈、振り返りなどを行い、課題解決の過程を通じた探究活動を身に付け、複数の地点の地震の記録をもとに、震源を特定することができる＞	規 準	・P波、S波、初期微動継続時間の特徴をもとに複数の地点での震源までの距離を計算し、作図によって震源の位置を確かめようとしている。 ・P波、S波、初期微動継続時間の特徴をもとに震源までの距離を計算し、作図によって震源の位置を求められることを理解し、知識を身に付けている。	・P波、S波、初期微動継続時間の特徴をもとに震源の位置について考えをまとめ、表現している。	★これまでに学んだP波、S波、初期微動継続時間の特徴について振り返り、課題を解決するとともに、震源を推定する探究活動を主体的に取り組もうとしている。
		方 法	ワークシート、ペーパーテスト	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、質問紙
		A 基 準	・3つの地点のデータをもとに、計算や作図によって震源の位置を確認できる。 ・P波、S波、初期微動継続時間の特徴を理解し、震源の位置の求め方を説明することができる。	・P波、S波、初期微動継続時間の特徴をもとに震源の位置について、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・課題を設定し、これまでに学んだP波、S波、初期微動継続時間の特徴を振り返り、震源の位置を意欲的に調べようとしている。
		B 基 準	・作図によって震源の位置が推定できる。 ・初期微動継続時間から震源までの距離を求め、震源の位置が理解できる。	・初期微動継続時間から震源までの距離を推定し、複数の地点から震源の位置を考えることができる。	・課題を設定し、震源の位置を複数の位置のデータをもとに調べようとしている。

方法…評価方法 A基準（十分満足できる。） B基準（おおむね満足できる。） ★…重点評価項目